

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《 2006年7週 》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
 - 男女別
 - 推移グラフ
 - 保健所別
 - 保健所別(定点当たり)
 - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
 - 週別検出状況
 - 臨床診断名別検出結果
- 感染症豆知識「ライム病」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

発生動向の概況 《2006年7週》

(全数把握対象疾患)

区分	疾患	報告 件数	情 報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	1	ソネ菌	インドネシア
	腸チフス	1	血液から菌検出	不明
三類	腸管出血性 大腸菌感染症	1	O128 VT2	国内
四類	レジオネラ症	1	推定感染経路:不明	国内
五類	アメーバ赤痢	2	推定感染経路:同性間性的接触1件、不明1件	国内
	HIV感染症	10	無症候性キャリア8件、AIDS2件 推定感染経路:同性間性的接触9件、不明1件	国内9件、 不明1件
	梅毒	2	早期頭症梅毒Ⅱ期 推定感染経路:異性間性的接触	国内
	破傷風	1	臨床決定 推定感染経路:不明	国内

(推定される感染経路及び感染地は医師の届出によるものである。)

(定点把握対象疾患 ー小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点ー)

・インフルエンザは前週に続き減少したが、依然、定点あたり10人を超えている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が高い値で推移している。

(検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
インフルエンザ		キット抽出液* 4件	インフルエンザウイルスAソ連(AH1)型	遺伝子
インフルエンザ		キット抽出液* 16件	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	
インフルエンザ疑い	9	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	
インフルエンザA	62	鼻汁	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	
インフルエンザA	56	うがい液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	
インフルエンザ	1M	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	
インフルエンザ	8	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型、 ライノウイルス	
じんましん、上気道感染	3	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	
ウイルス性上気道炎	9	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAソ連(AH1)型	
インフルエンザ、肺炎	8	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAソ連(AH1)型	
インフルエンザ、肺炎	1	鼻汁	RSウイルス	
扁桃炎	不明	咽頭拭い液	アデノウイルス	
無菌性髄膜炎	14D	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
ムンプス	7	咽頭拭い液	ムンプスウイルス、アデノウイルス、 ライノウイルス	
ヘルペス歯肉口内炎	7	咽頭拭い液	EBウイルス	
不明発しん症	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、ライノウイルス	
発しん症	6	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
川崎病(MCLS)	2	糞便	ヒトヘルペスウイルス6型	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法	
頸部リンパ節腫脹	11	咽頭拭い液	EBウイルス、ライノウイルス	遺伝子	
		血液	EBウイルス		
		尿	ライノウイルス		
けいれん、発熱	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型		
けいれん重積発作	1	糞便	ライノウイルス		
ウイルス性腸炎	52	糞便	ライノウイルス		
急性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス、ライノウイルス		
急性胃腸炎	0	糞便	病原性大腸菌O146		
急性胃腸炎	1	糞便	ロタウイルス		抗原
急性肺炎	3	咽頭拭い液	RSウイルス		分離**
ムンプス	6	咽頭拭い液	アデノウイルス3型		
腸チフス #	4	菌株	チフス菌	生化学的性状 &血清型試験	
腸管出血性 大腸菌感染症 #	38	菌株	O128 VT2	生化学的性状・ 血清型試験・RPLA & 遺伝子	
腸管出血性 大腸菌感染症 #		菌株3件	O157 VT2	生化学的性状・ 血清型試験・RPLA & 遺伝子	

* インフルエンザ迅速診断キット検査後の残り液 ** 遺伝子検査で報告済みの検体を含む。
全数把握対象疾患の報告症例からの検体

ウイルス性胃腸炎(集団事例)検査情報

検査区分	検査試料数	陽性数	ノロウイルス		ロタウイルス	その他
			G I	G II		
施設内感染疑いまたは食中毒等	197	64*	4	61		

* 1件は、G I・G II同時検出

定点医療機関・保健所からのコメント

定点医療機関からのインフルエンザ情報を表にまとめました。

管轄保健所	A型	B型	未検査・不明
文京	10		
台東	1		
	20		
墨田区	10		
大田区	8		
	8		
	6		
	28	1	1
中野区	12	1	
	16	2	3
西多摩	50		
	1		1
南多摩	25		20

全数把握対象疾患 患者報告数 2006年7週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		4週	5週	6週	7週	年累計	7週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群						()	()
	痘そう						()	()
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ							5
	細菌性赤痢			1	1	5	8	54
	ジフテリア							
	腸チフス			1	1	5	1	9
	パラチフス			1		1		2
三類	腸管出血性大腸菌感染症			3	1	8	9	61
四類	E型肝炎						(1)	(8)
	ウエストナイル熱						()	()
	A型肝炎	1	1	1		5	(5)	(35)
	エキノкокクス症							5
	黄熱							
	オウム病					1		4
	回帰熱							
	Q熱							
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ						()	()
	コクシジオイデス症							
	サル痘						()	()
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病							12
	デング熱						1	4
	ニバウイルス感染症						()	()
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
ブルセラ症								
発しんチフス								
ボツリヌス症						()	()	
マラリア					4		4	
野兔症						()	()	
ライム病								
リッサウイルス感染症						()	()	
レジオネラ症	1			1	3	8	49	
レプトスピラ症						()	()	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	5	6	2	20	4	66
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	2	1			3		24
	急性脳炎	2		1		3	(4)	(27)
	クリプトスポリジウム症							1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2		1		4	1	23
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					2	3	19
	後天性免疫不全症候群	10	6	10	10	58	14	128
	ジアルジア症					1		8
	髄膜炎菌性髄膜炎							3
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	4	1	2	13	5	60
	破傷風				1	1	2	5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1		5

2006/02/27集計

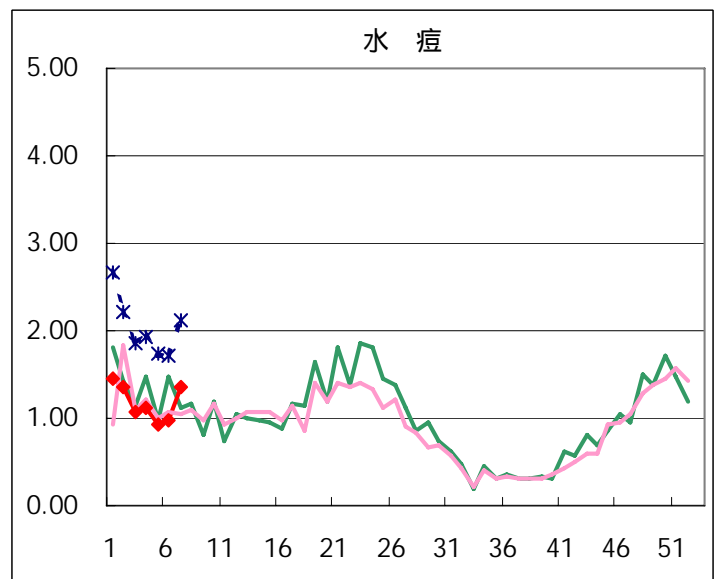
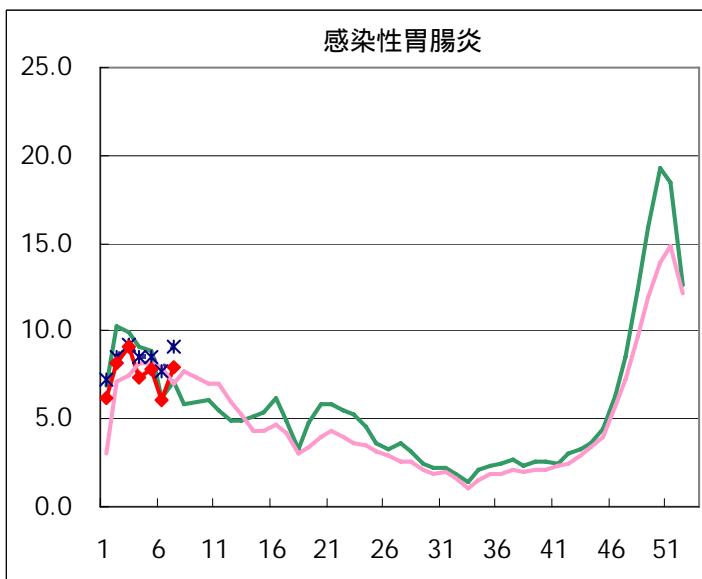
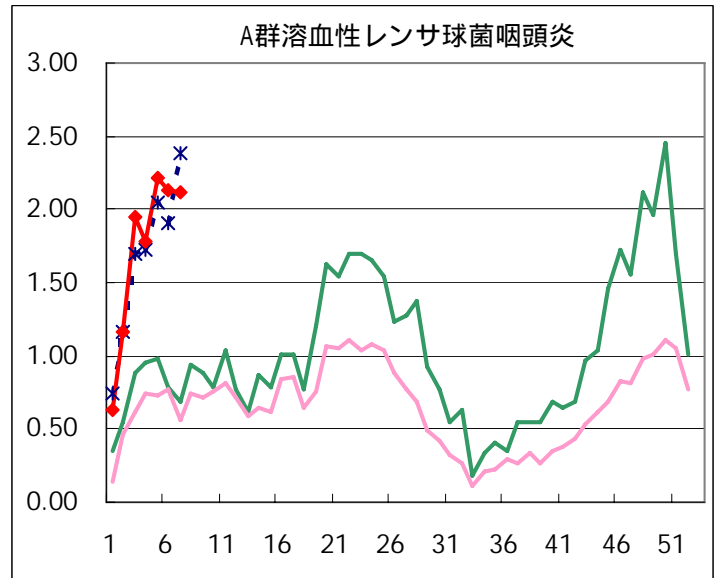
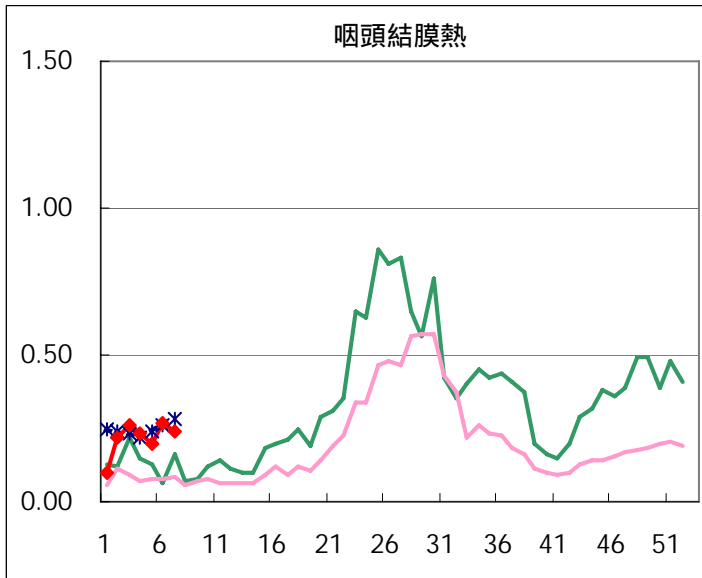
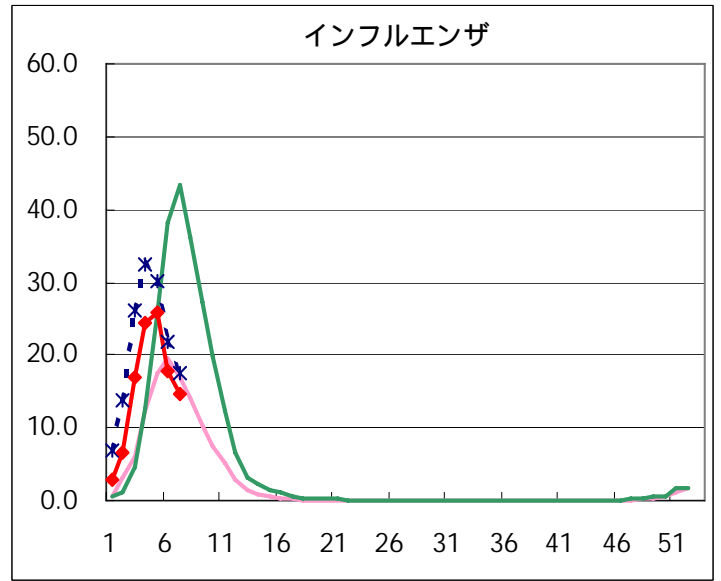
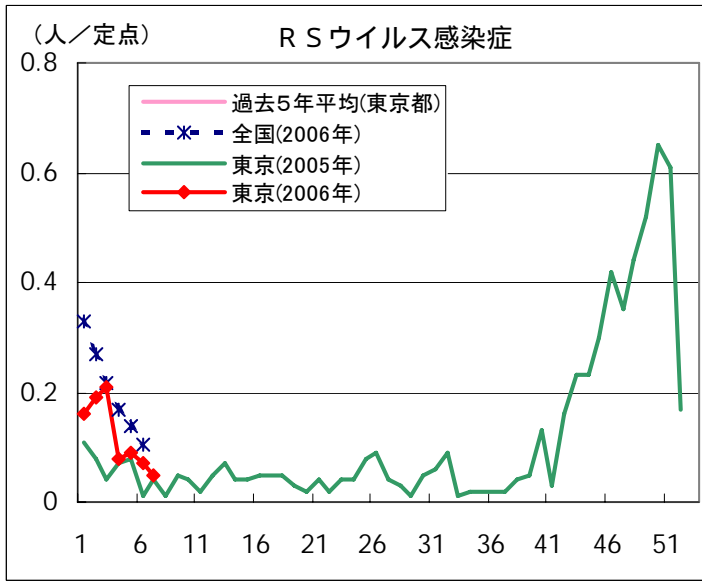
(カッコ内の数値は6週分)

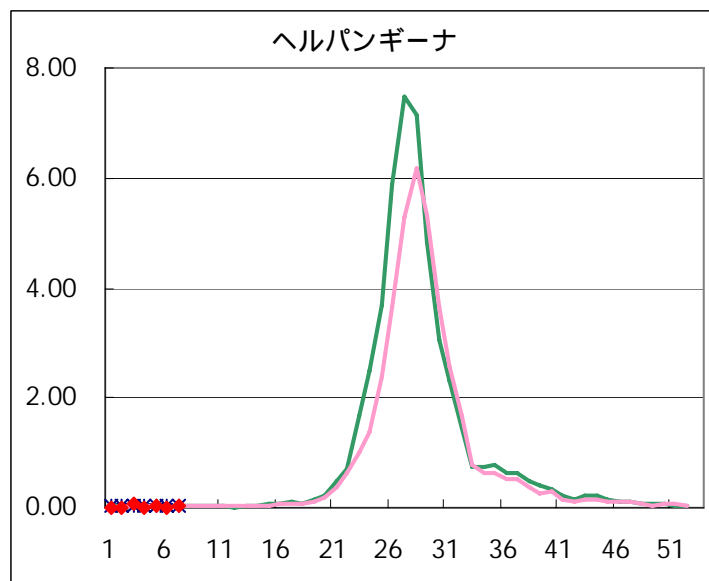
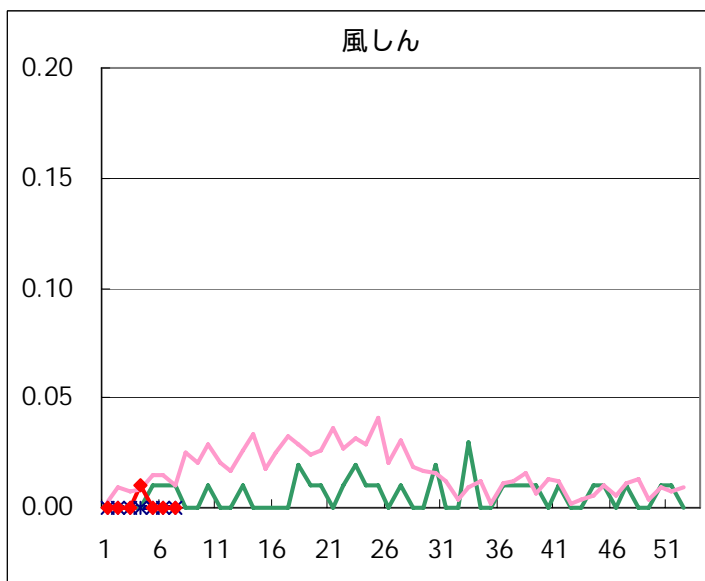
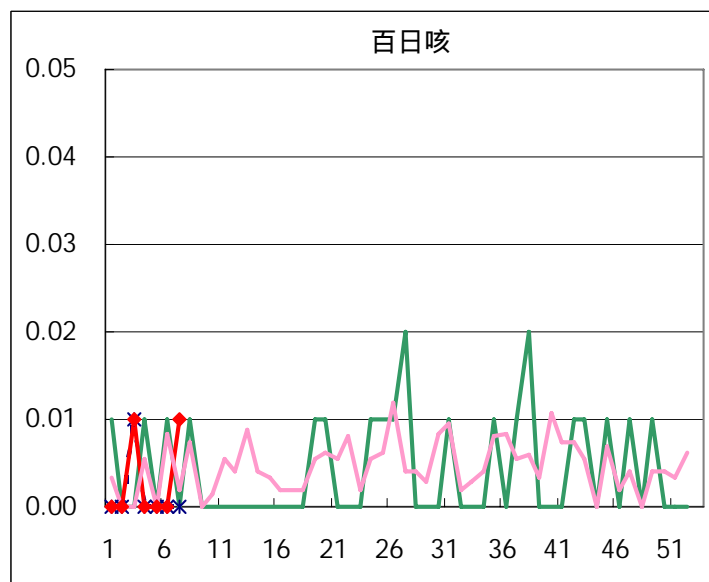
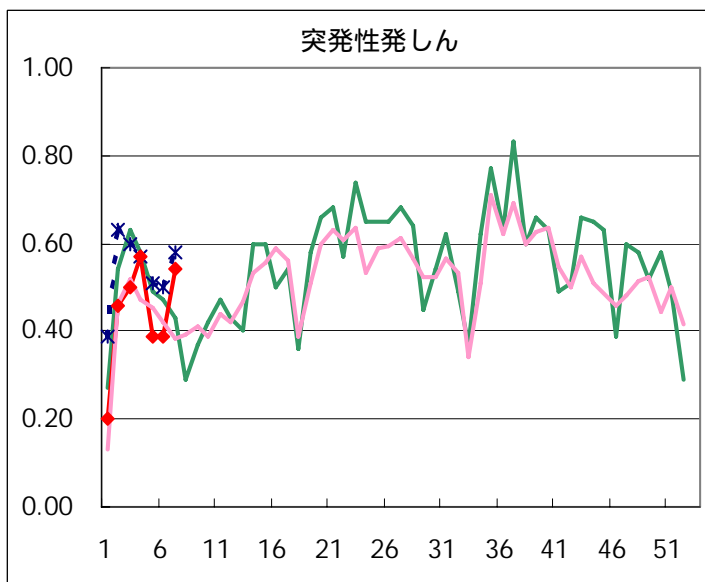
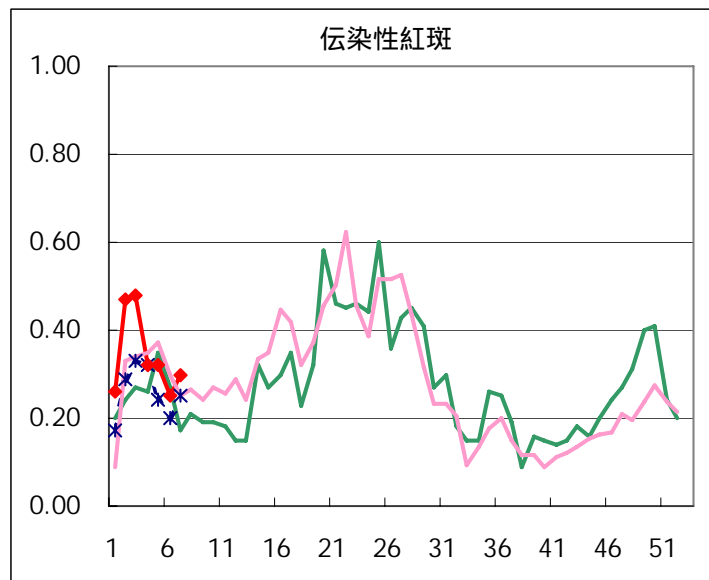
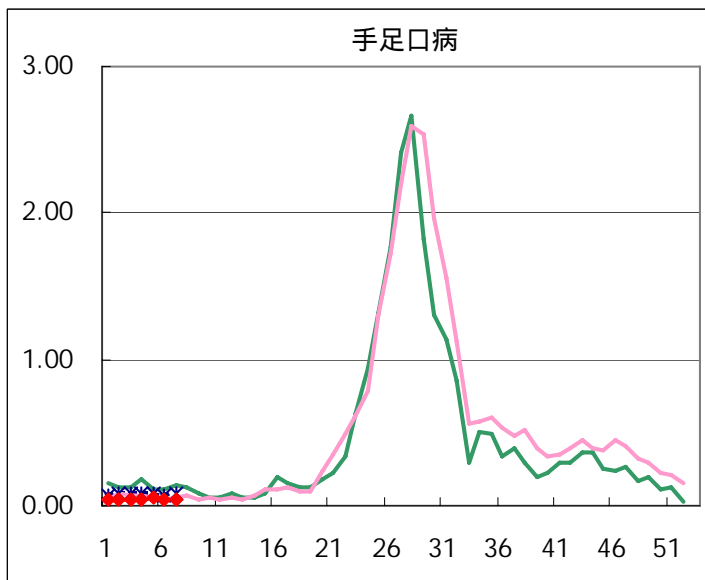
五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2006年7週

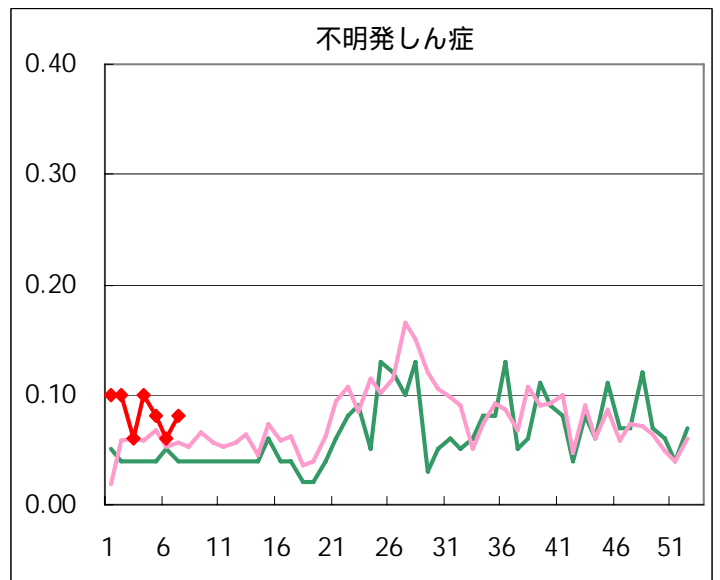
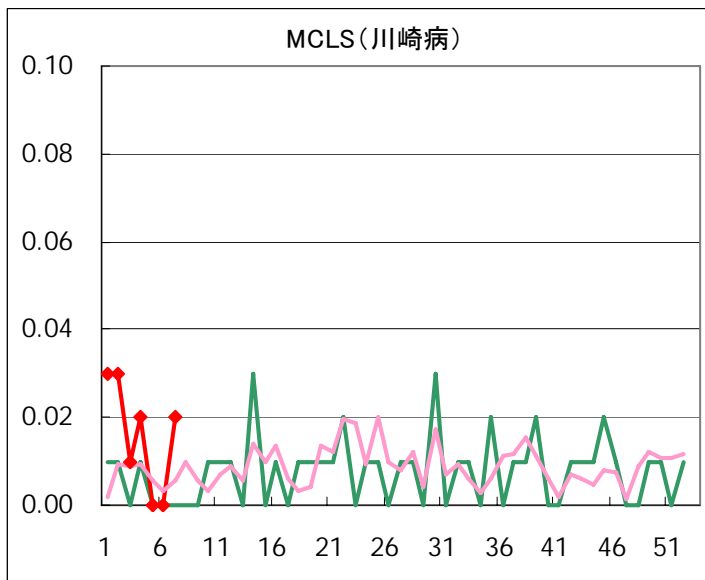
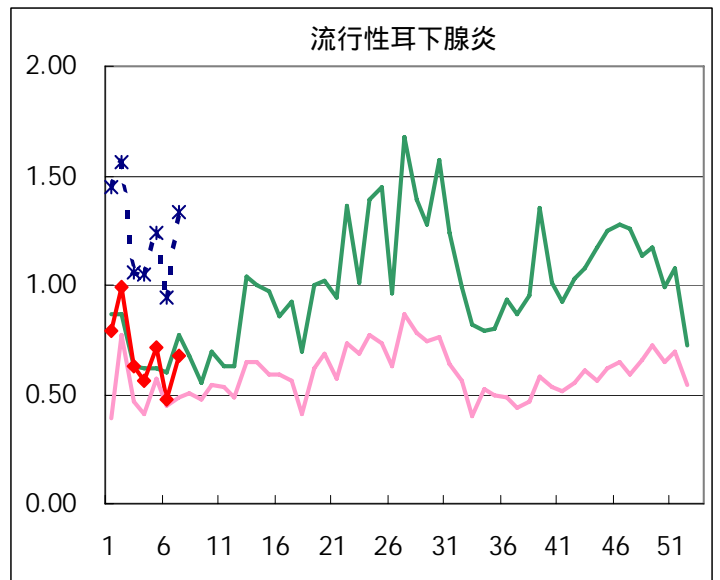
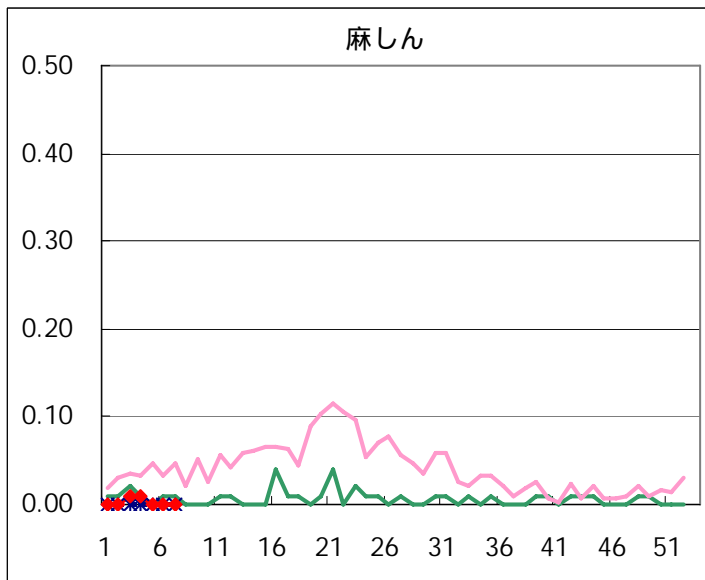
疾病名	性	2006年				4週合計	年累計
		4	5	6	7		
RSウイルス感染症	男	9	8	4	5	26	72
	女	5	5	6	2	18	53
インフルエンザ	男	2,195	2,301	1,597	1,302	7,395	9,760
	女	2,159	2,298	1,566	1,308	7,331	9,664
咽頭結膜熱	男	15	14	16	16	61	104
	女	17	15	22	18	72	111
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	131	167	172	140	610	879
	女	122	148	131	160	561	825
感染性胃腸炎	男	538	564	451	584	2,137	3,767
	女	503	545	419	536	2,003	3,701
水痘	男	79	71	73	102	325	601
	女	81	63	65	91	300	575
手足口病	男	5	4	3	2	14	23
	女	1	5	2	3	11	20
伝染性紅斑	男	26	21	17	24	88	178
	女	20	24	18	19	81	163
突発性発しん	男	45	30	27	41	143	232
	女	36	26	29	36	127	204
百日咳	男						
	女				1	1	2
風しん	男	1				1	1
	女	1				1	1
ヘルパンギーナ	男	2	1		4	7	11
	女		2		3	5	11
麻しん(成人麻しんを除く)	男	2				2	3
	女						
流行性耳下腺炎	男	47	71	34	50	202	363
	女	33	30	34	46	143	324
不明発しん症	男	7	7	5	6	25	44
	女	7	4	3	5	19	36
MCLS	男	2			1	3	9
	女	1			2	3	7
急性出血性結膜炎	男						
	女						
流行性角結膜炎	男	2	3	2	1	8	23
	女	2	5	2		9	15
細菌性髄膜炎	男						1
	女						
無菌性髄膜炎	男						1
	女						
マイコプラズマ肺炎	男	3				3	9
	女	1		1		2	3
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						
	女						
成人麻しん	男						
	女						

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2006年7週現在

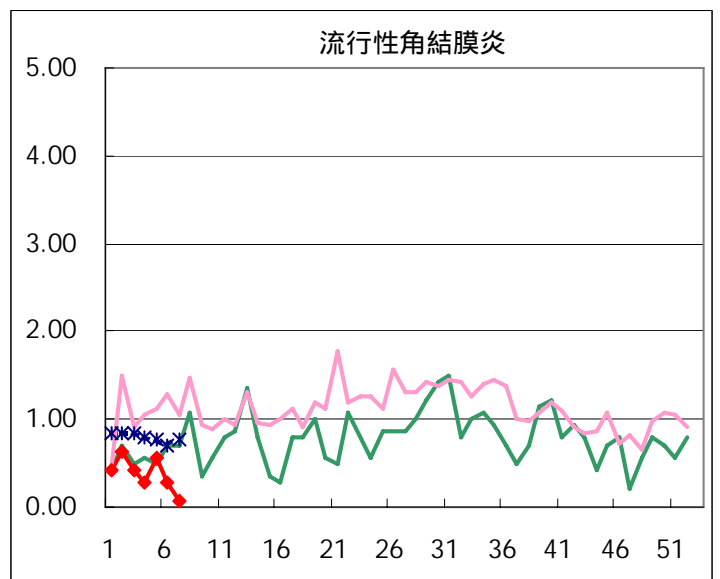
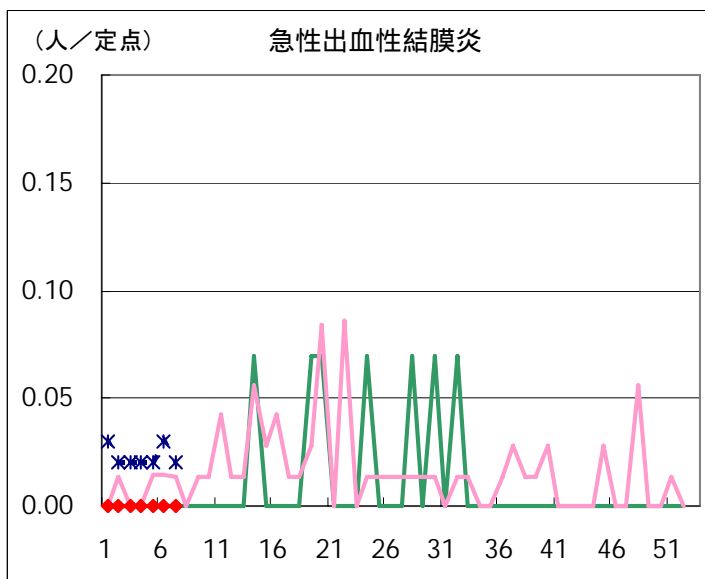
◆ 小児科・インフルエンザ定点



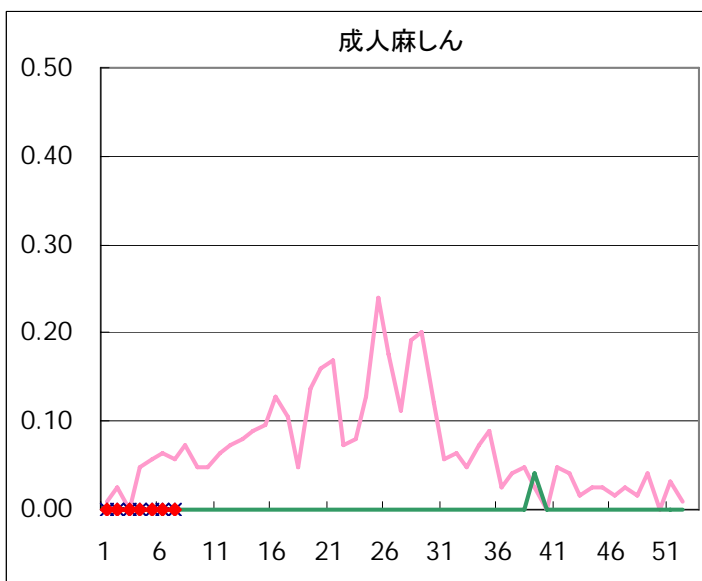
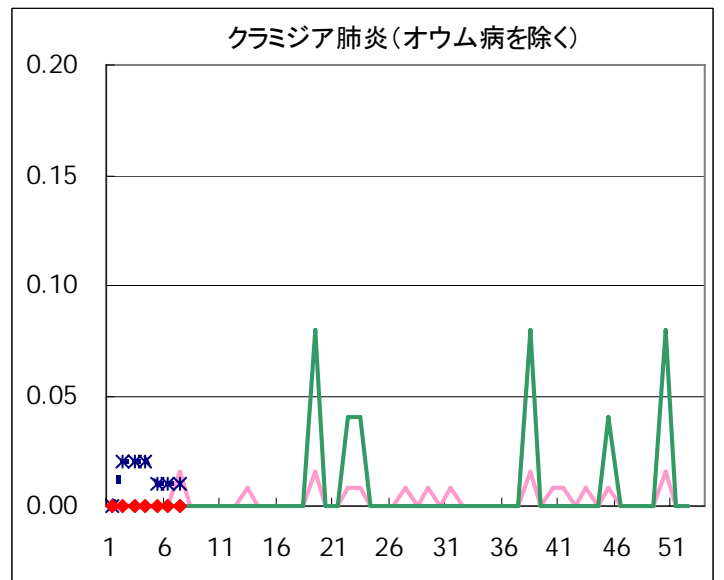
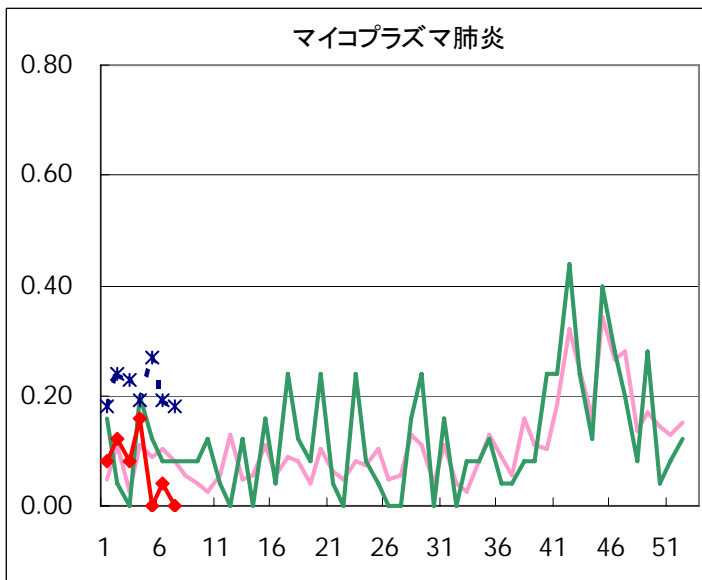
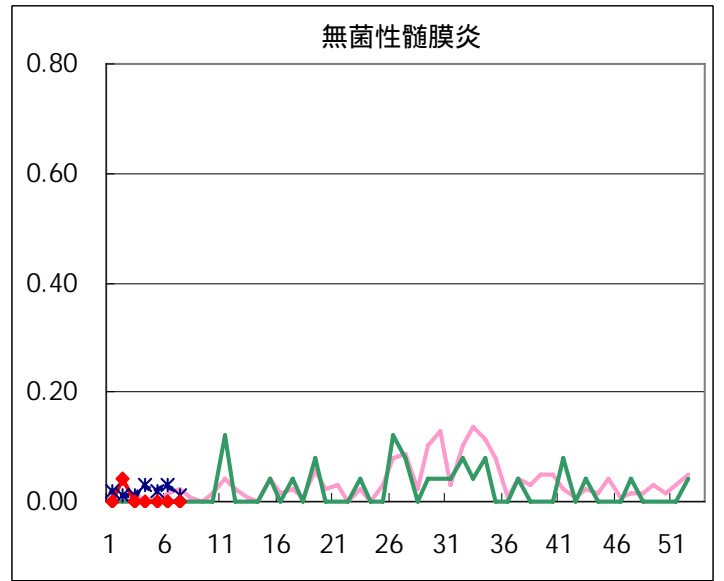
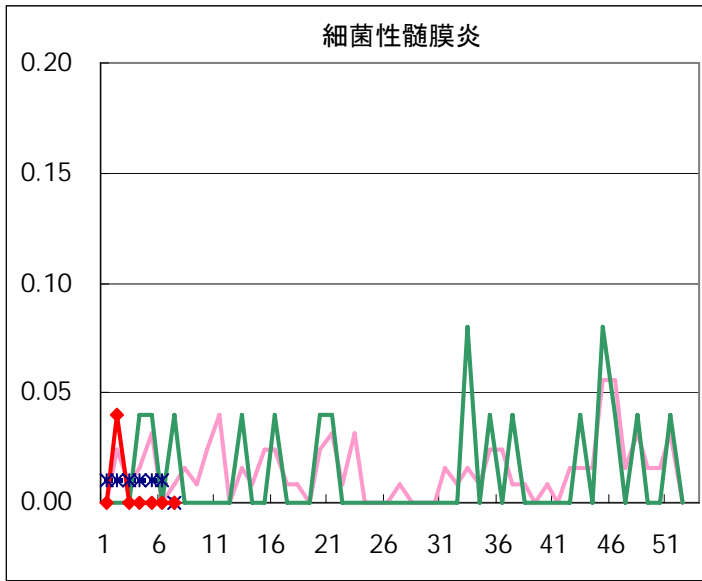




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】 2006年7週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	2	22			5	3		1	1	
中央区		24			6	8			1	
みなと		27	3	9	36	4		2	2	
新宿区		66		1	57	2				
文京		54	2	4	17	1				
台東		75	2	2	33	2			4	
墨田区		29	1	2	26	1				
江東区		50		12	40	4		4	4	
品川区		49	5	18	69	12			3	
目黒区		8		4	15	2		2		
大田区		130	6	39	91	8		8	5	
世田谷		126		6	68	6			7	
渋谷区		42		12	60	4		4	3	
中野区		60		15	39	6			1	
杉並	3	155		9	68	4	1	2	6	
池袋		28			2	1			1	
北区		77	1	8	20	5			4	
荒川区		65	3	12	16	4			2	1
板橋区		46		4	43	3		2	4	
練馬区		112	1	13	32	6	1	1		
足立		37		9	20	7				
葛飾区		124		7	20	10		3	4	
江戸川		112	6	37	30	11		2	1	
西多摩		182	2	6	36	10	1		1	
八王子		74	2	18	26	15		3	7	
南多摩	1	85		6	25	7			2	
町田		142		18	43	17		2		
多摩立川		99		1	23	5				
多摩府中		244		6	83	8		4	8	
多摩小平	1	248		17	71	15	2	2	6	
島しょ		18		5		2		1		

東京都合計	7	2,610	34	300	1,120	193	5	43	77	1
定点当り報告数	0.05	14.66	0.24	2.11	7.89	1.36	0.04	0.30	0.54	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】 2006年7週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									34
中央区				3					42
みなと				2		1	1		87
新宿区				3			1		130
文京				2					80
台東				4					122
墨田区				1					60
江東区									114
品川区				7					163
目黒区				1					32
大田区		1		3			1		292
世田谷				3				1	217
渋谷区				3					128
中野区				2					123
杉並				6					254
池袋				1					33
北区				5					120
荒川区		1		5					109
板橋区				1					103
練馬区				1					167
足立				1					74
葛飾区				4			2		174
江戸川									199
西多摩				7					245
八王子				2			5	2	154
南多摩		2		3					131
町田				8					230
多摩立川				5					133
多摩府中				5					358
多摩小平		3		8			1		374
島しょ									26

東京都合計	-	7	-	96	-	1	11	3	4,508
定点当り報告数	-	0.05	-	0.68	-	0.07	0.08	0.02	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年7週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	0.50	4.40			1.25	0.75		0.25	0.25	
中央区		6.00			2.00	2.67			0.33	
みなと		3.86	0.50	1.50	6.00	0.67		0.33	0.33	
新宿区		9.43		0.17	9.50	0.33				
文京		13.50	0.67	1.33	5.67	0.33				
台東		18.75	0.67	0.67	11.00	0.67			1.33	
墨田区		7.25	0.33	0.67	8.67	0.33				
江東区		12.50		4.00	13.33	1.33		1.33	1.33	
品川区		7.00	0.83	3.00	11.50	2.00			0.50	
目黒区		2.00		1.33	5.00	0.67		0.67		
大田区		13.00	0.67	4.33	10.11	0.89		0.89	0.56	
世田谷		14.00		0.75	8.50	0.75			0.88	
渋谷区		8.40		3.00	15.00	1.00		1.00	0.75	
中野区		8.57		2.50	6.50	1.00			0.17	
杉並	0.50	22.14		1.50	11.33	0.67	0.17	0.33	1.00	
池袋		4.67			0.40	0.20			0.20	
北区		15.40	0.25	2.00	5.00	1.25			1.00	
荒川区		21.67	1.50	6.00	8.00	2.00			1.00	0.50
板橋区		6.57		0.67	7.17	0.50		0.33	0.67	
練馬区		18.67	0.20	2.60	6.40	1.20	0.20	0.20		
足立		7.40		2.25	5.00	1.75				
葛飾区		24.80		1.75	5.00	2.50		0.75	1.00	
江戸川		22.40	1.50	9.25	7.50	2.75		0.50	0.25	
西多摩		26.00	0.40	1.20	7.20	2.00	0.20		0.20	
八王子		24.67	1.00	9.00	13.00	7.50		1.50	3.50	
南多摩	0.33	21.25		2.00	8.33	2.33			0.67	
町田		47.33		9.00	21.50	8.50		1.00		
多摩立川		12.38		0.17	3.83	0.83				
多摩府中		18.77		0.60	8.30	0.80		0.40	0.80	
多摩小平	0.17	31.00		2.83	11.83	2.50	0.33	0.33	1.00	
島しょ		9.00		5.00		2.00		1.00		

東京都合計	7	2,610	34	300	1,120	193	5	43	77	1
定点当り報告数	0.05	14.66	0.24	2.11	7.89	1.36	0.04	0.30	0.54	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年7週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区				1.00				
みなと				0.33		1.00	0.17	
新宿区				0.50			0.17	
文京				0.67				
台東				1.33				
墨田区				0.33				
江東区								
品川区				1.17				
目黒区				0.33				
大田区		0.11		0.33			0.11	
世田谷				0.38				0.13
渋谷区				0.75				
中野区				0.33				
杉並				1.00				
池袋				0.20				
北区				1.25				
荒川区		0.50		2.50				
板橋区				0.17				
練馬区				0.20				
足立				0.25				
葛飾区				1.00			0.50	
江戸川								
西多摩				1.40				
八王子				1.00			2.50	1.00
南多摩		0.67		1.00				
町田				4.00				
多摩立川				0.83				
多摩府中				0.50				
多摩小平		0.50		1.33			0.17	
島しょ								

東京都合計	-	7	-	96	-	1	11	3
定点当り報告数	-	0.05	-	0.68	-	0.07	0.08	0.02

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2006年7週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月		9			7	7			5
～1歳	1	40	1	1	39	9	1	1	36
1歳	5	139	3	8	125	38	2	1	32
2歳	1	140	3	15	89	26	1	4	3
3歳		175	3	24	75	36	1	3	
4歳		215	10	48	95	29		5	
5歳		212	3	43	88	22		8	
6歳		228	7	46	81	6		3	1
7歳		193	1	29	69	7		7	
8歳		162	2	25	58	4		4	
9歳		142		14	38	2		4	
10～14歳		235		27	90	4		1	
15～19歳		67		3	40	1			
20～29歳		138	1	17	226	2		2	
30～39歳		236							
40～49歳		139							
50～59歳		78							
60～69歳		37							
70～79歳		18							
80歳以上		7							
合計	7	2,610	34	300	1,120	193	5	43	77
先週比	-3	-553	-4	-3	250	55	0	8	21

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月								2	
～1歳								1	1
1歳			1		3			4	
2歳			1		8			2	
3歳					12			1	
4歳			2		18				
5歳					11				
6歳			1		11				
7歳					7				
8歳	1				11			1	1
9歳					5				
10～14歳					6				
15～19歳					1				1
20～29歳			2		3				
30～39歳									
40～49歳							1		
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	1	-	7	-	96	-	1	11	3
先週比	1	0	7	0	28	0	-3	3	3

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2005年52週～2006年7週

検出病原体・抗体		検体採取週							合計	
		05年	2006年							
		52	1	2	3	4	5	6		7
ウイルス	アデノ	4	9	6	9	5	7	8	5	53
	ライノ			1		2		7	10	20
	ポリオ	1	1							2
	コクサッキーA群				3					3
	コクサッキーB群									
	エコー	1	1	1				1		4
	エンテロ71									
	その他のエンテロ		1					3		4
	単純ヘルペス			3		1		2		6
	水痘・帯状疱疹									
	ヘルペス6/7	5	4	2	2	2		4	3	22
	EB	1		2				1	3	7
	サイトメガロ					3				3
	ムンプス	2	3	1			1		1	8
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19	1				1				2
	RS	7	9	1	6	6	4	1	2	36
	ノロ	2	46	120	37	103	53	22	65	448
	ロタ			3	1	1	1		1	7
インフルエンザAソ連型		7	17	14	4	7	3	6	58	
インフルエンザA香港型	1	79	76	28	69	8	8	22	291	
インフルエンザB型										
デング										
その他のウイルス										
細菌	カンピロバクター									
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌			1	3				4	8
	その他の腸管系病原菌		1	2	1				2	6
	溶血性レンサ球菌		5	8	2	1				16
	MRSA				1					1
	MSSA									
	その他の細菌		2		1					3
その他の病原体							1			1

臨床診断名別検出結果 2005年52週～2006年7週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	494	29	47	1419	8	2			1			22	9				161	
アデノ	1	5	7	13	4	1			2			4	4				12	53
ライノ	3	2		2	1							3	2				7	20
ポリオ				2														2
コクサッキーA群									3									3
コクサッキーB群																		
エコー												1					3	4
エンテロ71																		
その他のエンテロ		3															1	4
単純ヘルペス									1			1					4	6
水痘・帯状疱疹																		
ヘルペス6/7		1		2								5					14	22
EB		1	1										1				4	7
サイトメガロ			1														2	3
ムンプス					1								7					8
麻疹																		
風しん																		
パルボB19																	2	2
RS	4	2	21			1						1					7	36
ノロ				447								1						448
ロタ				7														7
インフルエンザAソ連型	55	1	1														1	58
インフルエンザA香港型	288	3																291
インフルエンザB型																		
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																	8	8
その他の腸管系病原菌				1													5	6
溶血性レンサ球菌				3													13	16
その他の病原体			1														4	5
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	

< 感染症豆知識 >

ライム病

ライム病はスピロヘータによって罹る多様な全身症状を呈するマダニ媒介性人獣共通感染症である。1975年米国コネチカット州東部ライム地方で多発した小児の関節炎をきっかけに注目され、毎年2万人前後の報告例がある。日本では1986年に本病が確認されて以来、野鼠やシカ、ペットなどの感染が報告されている。米国、カナダ、ヨーロッパ、旧ソ連邦、アジアなどの流行地は病原体を保有するマダニの生息地でもある。これらの地域では公衆衛生上問題となっている。病原体のボレリアは11種見いだされ、特に *B.burgdorferi*、*B.garinii*、*B.afzelii* の三種が病原性を有する。日本はシュルテエマダニが棲息する北海道を中心に中部地方以北で *B.garinii* と *B.afzelii* が確認されている。ヒトへの感染はマダニが皮膚に咬着・吸血する結果罹り、多彩な症状を呈するが、遊走性紅斑(EM)は特異症状である。潜伏期は3日～4週。臨床経過は、第一期(局在期):主に慢性遊走性紅斑、局所リンパ節腫脹。第二期(播種期):主に神経及び循環器系障害を呈し、関節炎、結膜炎等は見られる。第三期(慢性期):慢性萎縮性肢端皮膚炎、慢性髄膜炎、脳炎、慢性関節炎などを発症する。北米では慢性EMと関節炎、欧州は神経障害と慢性萎縮性肢端皮膚炎を呈する。マダニが咬着している時間が長くなると感染の危険性も増大する。咬着マダニの除去は頭部が皮膚に食い込んでいるので注意する。治療にはペニシリン、テトラサイクリンの投与が有効であるが、早期診断・治療が重要である。犬は関節炎、神経障害を示す。

(文責・池田忠生)